

H17 「知的交流フェロースhip(招へい・中東)」プログラム	
テーマ	伝統と近代:政治・経済・文化の視角から
アドバイザー	一橋大学教授 加藤博氏
参加者および 出身国	Younes HAMIDOUCHE/アルジェリア Ebtisam Aly HUSSEIN/エジプト Homira NADIMI/イラン Mahmmoud Abdul-Wahid MAHMMOUD/イラク Rawan Yousef Ahmad NATSHEH/パレスチナ Rim TRIKI/チュニジア Serhat ERKMEN/トルコ
期間	21 日間(2005/11/11～2005/12/1)
講義	<p>基調講演:日本の中東観 (一橋大学教授 加藤博氏)</p> <p>日本の外交政策 (防衛大学校教授 孫崎亨氏)</p> <p>中東アラブ・ジャーナリストとの意見交換 (読売新聞調査研究本部主任研究員 池村俊郎氏)</p> <p>戦後日本とアメリカニズム (東京大学情報学環教授 吉見俊哉氏)</p> <p>近代日本のナショナル・アイデンティティ (慶應義塾大学総合政策学部助教授 小熊英二氏)</p> <p>戦後の政治経済モデル (東京大学大学院総合文化研究科教授 恒川恵一氏)</p> <p>戦後日本社会 (東京工業大学大学院社会理工学研究科教授 橋爪大三郎氏)</p> <p>国際法と平和 (国際基督教大学社会学科教授 最上敏樹氏)</p> <p>日本の女性労働のあゆみと現状 (女性と仕事の未来館事務局長 井口民子氏)</p>
視察など	<p>< 大学など ></p> <p>京都大学(中東地域研究者との懇談)、同志社大学一神教学際研究センター(研究者と懇談)、国立教育政策研究所、京都大学小杉泰教授のゼミ(訪問と若手研究者とのワークショップ)、国際日本文化研究センター(片倉もとこセンター長及び研究者と懇談)、比治山小学校、広島大学教育開発国際協力研究センター</p> <p>< 文化・歴史・宗教など ></p> <p>茶道体験、歌舞伎鑑賞、国会議事堂、最高裁判所、東大寺(森本長老の講和)、広島平和記念資料館/原爆ドーム(視察および被爆講話)、京都、浅草、秋葉原など</p>

	<p>< 企業や地域・自治体の取り組みなど > 読売新聞社、女性と仕事の未来館、都内町工場「もの作り」の現場視察、株式会社 エスシーシー (IT 企業)</p>
個人研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「チュニジアと日本の女性解放運動:近代化の探求」 (Rim TRIKI) ・ 「近代化と宗教の役割」 (Homira NADIMI) ・ 「途上国の政治における伝統の影響:日本の事例」 (Ebtisam Aly HUSSEIN) ・ 「日本の文化的人権」 (Rawan Yousef Ahmad NATSHEH) ・ 「政治、経済、文化的観点から見た伝統と近代化:日本とイラクの比較研究」 (Mahmmoud Abdul-Wahid MAHMMOUD) ・ 「中東の近代化と民主化における日本の事例からの学び」 (Serhat ERKMEN) ・ 「報道と民主化」 (Younes HAMIDOUCHE)